

健康で長く働き続けられる
職場を一緒に♡

1人の
つぎやきが
大きな
要求に!

患者・利用者中心の
精神科医療へ!



「入院中心」の日本の精神科医療は、私たちの職場で多くの問題を引き起こしています。

やりがいのあるケアを取り戻し、はたらく環境を良くするためには、「患者・利用者を中心に」据えた精神科医療の実現が求められています。

私たちとともに、精神保健医療福祉の充実を求める運動をすすめていきましょう!

一緒に職場を
かえて
いきましょう



今、精神科病院の中で何が起きているの？

精神科患者への隔離拘束が10年間で2倍以上に膨れ上がっている。逆行しているわ。

空きベッドに認知症患者を積極的に入院させている。ベッドを埋めるための新たな認知症の抱え込みね。長期入院になり新たな問題になりそう。

長期入院者は高齢化し、車イスの方がほとんど。今の配置基準では手が足りないわ。

今もなお入院医療において人権侵害の事件が後を絶たないわ。このままでは自分や家族を入院させられない。

殆どの病院で病床利用率も80%台で赤字経営。不安だわ。



あなたの働いている職場は今、どんな状況ですか？

病院の将来が不安

- 空きベッドが埋まらなくて病院経営の危機。この病院に将来はあるの？
- 赤字経営の為に労働条件が悪化し不満の声が。生活が厳しい、なんとかして！
- 人手不足が深刻。増員はしてほしい！休みをとりたい！



もっと人手があれば患者・利用者中心の精神科医療が提供できるのに



納得がいく看護ができない

- 急性期病棟では、毎日入院と退院の手続きに追われている。ゆっくり患者さんと向き合う時間がない。
- 入院してくるのは殆ど再入院の患者さんばかり。地域での生活を見据えた看護が提供できない。
- 患者さんの人権が守られない現状が毎日そこにある。時には法律さえも守られない実態も。指示・命令・禁止用語が飛び交う精神科の医療現場。なんとかしたい！

労働組合に加入して安心して
働き続けられる職場をつくりましょう！

労働組合って、何をやっているの？

1 労働組合とは？

労働組合はあなたと一緒に考え、労働者の立場に立って問題を改善する組織です。よりよい医療・介護・福祉の実現やはたらき続けられる職場づくりのために、経営者だけでなく、自治体や国に対して問題を解決するよう

働きかける事が出来る仲間の集まりです。1人で不満や愚痴を並べても何も解決しません。労働組合はその声を要求して実現する力があります。また、職場で困った事があった時にすぐに相談できるのも労働組合です。

私でも入れるの？

- ①労働組合は、労働者であれば誰でも入れます。(正規・非正規を問わず)
- ②共通の要求を実現のために団結する組織です。
- ③みんなで話し合い、みんなで決めて、みんなで行動するのが基本理念です。
- ④組合には4つの♥愛があります。『知り愛』『学び愛』『語り愛』『助け愛』



組合は具体的にどんなことをしているの？

- ①賃金・労働条件の改善のために、経営者と交渉しています。
- ②よりよい医療・介護・福祉の実現のために、自治体や国に要請しています。
- ③困った時の相談場所にもなります。生活応援の制度も。(医労連共済・ろうきん)
- ④学び合い・交流の機会をつくっています。(職場学習会から精神医療関係労組全国交流会まで)
- ⑤専門的な実践と研究発表の場もあります。(医療研究全国集会など)

2 日本医労連 精神病院部会の役割と運動

精神病院
部会とは？

日本医労連は全国に17万人の仲間をもつ全国で唯一の医療の産業別労働組合です。

精神病院部会は、精神科病院や関連施設の労働組合の仲間と構成する日本医労連の部会です。

精神科病院の医師・看護師等人員配置の引き上げを

精神科病院の収入や人員配置は、1958年に定められた「精神科特例」によって非常に低く抑えられてきました。精神病院部会では、全国の仲間

と共に賃金の引き上げや増員と併せて、「精神科特例」の廃止をはじめとする精神保健医療福祉の改善を求めて取り組みをすすめています。

患者・利用者中心の精神科医療へ

精神病院部会では、患者・利用者中心の精神保健医療福祉のあり方について、部会として「提言」を出しながら運動をすすめています。また、「精神保健医療福祉の改善を求める国会請願署名」に取り

組みながら、国会議員へも要請を行っています。

QRコードを読み取ると、「提言」を読むことができます。



地域での運動

当事者や自治体関係者と共に、100年前の日本の精神科医療の実態を描いた映画「夜明け前」上映会の取り組みなど地域であるべき精神保健医療福祉を考える取り組みを進めています。



現場の実態調査・アンケート

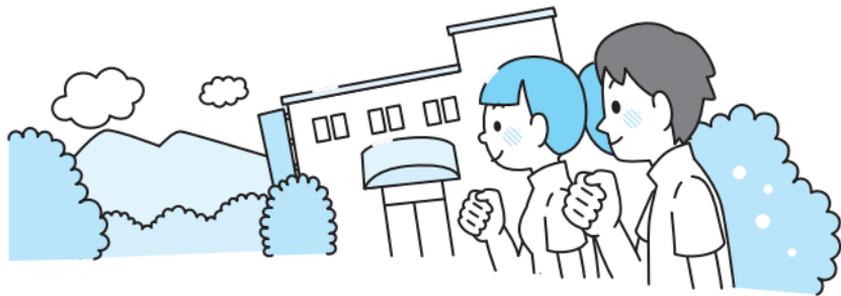
精神病院部会は、職場の実態や病院の経営実態等についてアンケートに取り組んでいます。調査結果については、

協力していただいた労働者・経営者に報告するとともに、国会議員要請や厚労省への要請などに活用しています。

仲間を増やして職場を変えよう

日本医労連は、これまでも「看護師確保法」の成立や診療報酬の大幅な引き上げ、介護職員の処遇改善など、運動によってさまざまな制度改善を実現してきました。その原動力となるのが組合員の「仲間」です。日本医労連には、全国17万人を超える多くの仲間がおり、私たちには制度を変える大きな力があります。医療・介護・福祉の現場には、まだまだ多くの問題が山積しています。新型コロナのパンデミックでは、日本の医療・介護・福祉の脆弱性が浮き彫りになりました。日本医労連

の仲間が声を上げ、世論を変えていけば、こうした実態を変えることができます。日本の医療・介護・福祉の現場ではたらく労働者は800万人、精神科病院ではたらく労働者は17万人と言われています。今まで我慢を強いられ、声を上げることができなかった一人ひとりの労働者が、労働組合に加入して声を上げれば、「安全・安心の精神科医療」「はたらき続けられる職場」を実現することができます。さあ、労働組合に加入して、改善のための一歩を踏み出しましょう！



おわりに

日本の精神科医療は長い間入院中心の精神科医療が続けられてきています。政府にも精神障害者の社会復帰促進や精神保健医療福祉の改善を目指した動きが見られるようになりましたが、地域精神医療を中心とする諸外国と比較するとまだまだ患者が地域で安心して暮らせる政策にはなっていません。今の精神科医療の現場では1年以内の入院と長期入院の二極化がすすむ中で、多くの病院が経営的に困難を抱えています。積極的な医療を展開している病院でも空床ベッドが埋まらなくなってきており、病床利用率は全国平均で85.5%まで低下しています。

このような中で、精神保健医療福祉に携わる多くの団体が患者・利用者中心の精神科医療を求めて声をあげ始め、当事者運動も盛り上がりを見せています。現場で多くの人権侵害や問題を直視してきた私達が黙っている訳にはいきません。職場を守り、患者を守るため、患者・利用者中心の精神保健医療福祉の実現を求める運動を全国に広げて行く必要があります。日本医労連精神病院部会は「精神科医療のあり方への提言」を作成し、国への要請や国会請願署名にとりこんでいます。私たちと共に精神保健医療福祉の改善に向けて声をあげていきましょう。



労組未加入の方も、組合に入って医労連共済をご利用ください！

助け合いの共済でくらし見直し

セット共済

生命
共済

医療
共済

交通災害
共済

4つの
ポイント

- 1 掛金は年齢に関係なく一律。
- 2 満79歳まで家族とともに加入を継続できます。
- 3 病気・ケガ死亡は最高2,000万円の保障。
- 4 ライフスタイルに合わせたプランが組めます。

安い掛金・大きな保障

魅力いっぱい 医労連共済

休業保障があります。入院のみ、入院と通院の保障では、働く世代の保障としては不十分。休業保障は他にはない魅力です。

後遺障害も手厚く保障しています。他の共済では高度障害や交通事故に限りますが、病気・ケガも保障し、障害等級も幅広く保障しています。

おすすめ

安い掛金で暮らしの「万が一」に備えます

セット5型

月掛金

3,120円

(2021/7より)

死亡

800万円

- 不慮の事故 1,600万円
- 交通事故 2,000万円

後遺
障害

800万円～32万円(1級～14級)

- 不慮の事故 1,600万円～64万円
- 交通事故 2,000万円～80万円

入院

2,000円

- 不慮の事故 10,000円
- 交通事故 16,000円

休業

1,000円

- 交通事故 4,000円

月掛金+2,080円

[セット5型+医療共済16口]

入院 10,000円

休業 5,000円

自動車共済

まずは、いまの契約とくらべてください！

- 基本的な保障内容は損害保険会社と同様です。

団体割引率

15%

20年10月～
21年9月まで

見積りするだけで
記念品を
進呈!

ご相談・お問い合わせはお気軽に
労働組合の共済担当者まで

みんなでつくる 大きな安心
医労連共済



0120-160931

いろいろれんきょうさい